



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 藤井 博行

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長 (氏名) 西家 憲一

TEL 03-5765-4075

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	261,726	3.0	16,532	△24.6	15,482	△19.4	6,790	△33.8
23年3月期第2四半期	254,168	30.2	21,938	—	19,211	—	10,251	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 487百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 4,490百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.27	—
23年3月期第2四半期	29.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	548,036	226,179	37.7	585.94
23年3月期	529,869	228,010	39.3	591.51

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 206,506百万円 23年3月期 208,472百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	9.6	44,500	3.1	40,500	7.7	21,700	△2.3	61.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	366,557,889 株	23年3月期	366,557,889 株
24年3月期2Q	14,124,550 株	23年3月期	14,115,670 株
24年3月期2Q	352,436,727 株	23年3月期2Q	352,467,810 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全般的に景気の回復が緩やかになりました。中国をはじめとする新興国は、引き続き好景気を維持しているものの、景気過熱などからインフレ圧力が高まりました。米国は、景気の回復が鈍化し雇用の回復も遅れており、欧州は、一部の国における財政危機懸念から、先行き不透明な状態です。一方、わが国経済は、東日本大震災による落ち込みから回復しつつあるものの、急激な円高の進行などにより、持ち直しの動きが緩やかになりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、国内ではサプライチェーンの立ち直りで生産が急速に回復し、海外では中国や米国市場はやや減速したものの好調に推移しました。半導体は、タブレット端末などの需要はあったものの、パソコン市場が世界的に低迷し、国内でも震災の影響が大きく低調に推移しました。情報関連機器は、スマートフォンなどの需要が市場を牽引しました。薄型テレビは、国内ではデジタル放送への切り替え需要の反動があり、海外では在庫調整などもあり低調に推移しました。鉄鋼は、国内では震災による落ち込みから回復しつつあり、海外では拡大基調を維持しています。国内住宅建設は、持ち直しの動きがみられ、公共投資は、補正予算の執行などをうけて、下げ止まりつつあります。

このような事業環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比3.0%増の261,726百万円となりました。一方、営業利益は、原材料価格高騰等の影響により、前年同期比5,406百万円減の16,532百万円、経常利益は、前年同期比3,729百万円減の15,482百万円、四半期純利益は、前年同期比3,461百万円減の6,790百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### ①高級金属製品

当セグメントの売上高は、前年同期比0.1%増の111,890百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比1,199百万円減の10,998百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

##### <金型・工具用材料>

工具鋼は、主要な用途である自動車用金型の需要が回復し伸長しました。

##### <電子金属材料>

液晶パネル関連材料は、国内ではデジタル放送への切り替え需要の反動があり、海外では在庫調整などもあり減少しました。

半導体等パッケージ材料は、電子機器用で在庫調整があり減少しました。

##### <産業機器・エネルギー関連材料>

自動車関連材料は、国内では震災の影響からの回復が顕著で、海外向けも含め需要が旺盛で好調でした。

エネルギー関連材料は、震災後の電力関連需要が続き増加しました。

##### <各種ロール>

国内の市場は、需要が低迷し減少しました。一方、海外の市場は、新興国が牽引し伸長しました。

##### <射出成形機用部品>

射出成形機用部品は、自動車関連設備の投資が持ち直し好調でした。

##### <切削工具>

主要ユーザーである自動車関連産業の生産の回復により、工具需要は堅調に推移しました。

#### ②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、前年同期比6.4%増の70,191百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比2,348百万円減の5,529百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

##### <マグネット>

希土類磁石は、原材料価格の高騰が続く中、自動車関連産業の生産が回復し、家電用も海外向けを中心に増加しました。F A関連は、新興国の設備用などで後半に調整が入ったものの、全体では好調に推移しました。

フェライト磁石は、自動車関連産業の生産が回復し、家電用も海外向けを中心に増加しました。

##### <軟質磁性材料>

アモルファス金属材料は、主要市場である中国での入札の遅れと、電力会社の設備投資抑制により減少しました。ソフトフェライトは、自動車関連産業の生産は回復しましたが、デジタル家電などが低迷し減少しました。フラインメットは、産業機器の需要減と太陽光発電の主力顧客で在庫調整が続き減少しました。

<情報通信機器用部品>

情報通信機器用部品は、スマートフォン向け新規採用品の顧客での生産が開始となりましたが、携帯電話をはじめとする通信機器の在庫調整とデジタル家電などでの採用が進まず減少しました。

③高級機能部品

当セグメントの売上高は、前年同期比4.4%増の80,283百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比1,777百万円減の3,520百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

<高級ダクタイル鋳鉄製品>

高級ダクタイル鋳鉄製品は、国内では低調ながら震災の影響から徐々に回復しつつあります。一方、海外では引き続き好調でした。

<耐熱鋳造部品>

耐熱鋳造部品は、欧州の自動車メーカー向け輸出を中心に、排ガス規制強化や省エネ対応への需要が旺盛であったため、伸長しました。

<アルミホイール>

アルミホイールは、前半は震災の影響で減産を余儀なくされましたが、後半は自動車関連産業のサプライチェーンが立ち直り増産に転じたものの全体では減少となりました。

<各種管継手>

各種管継手は、住宅着工戸数の持ち直しの動きがみられるものの、微減となりました。

<ステンレス及びプラスチック配管機器>

配管機器は、仮設住宅着工に伴う需要の増加もあり好調でした。

<建築部材>

建築部材は、震災復興の需要と建設・設備投資がやや持ち直したことを受け伸長しました。

④その他

当セグメントの売上高は、前年同期比17.6%増の2,010百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比91百万円減の307百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び財務活動の結果得られた資金が投資活動に使用した資金を下回ったことにより、前連結会計年度末に比べ7,876百万円減少し、26,118百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,819百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が15,273百万円となったものの、たな卸資産等の運転資金の増加16,303百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、10,165百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が10,960百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2,359百万円となりました。これは主に社債の償還による支出15,505百万円があったものの、コマーシャル・ペーパーの発行による収入8,000百万円及び社債の発行による収入10,000百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の業績は、エレクトロニクス関連製品に調整の動きがあったものの、自動車関連分野の需要は順調に回復、堅調に推移しました。

平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績予想につきましては、液晶ディスプレイ関連や半導体関連などエレクトロニクス関連製品の需要調整が続いているものの、自動車関連を中心とした需要は堅調に推移しており、平成23年5月30日公表の予想数値を修正いたします。

〔通期〕

	今回予想（A）	前回予想（B）	増減額（A－B）	増減率
売上高	5,700億円	5,330億円	+370億円	+6.9%
営業利益	445億円	430億円	+15億円	+3.5%
経常利益	405億円	392億円	+13億円	+3.3%
当期純利益	217億円	209億円	+8億円	+3.8%

なお、平成23年10月にタイ国で発生した洪水により、タイ国内の当社連結子会社が浸水被害を受けておりますが、今回の洪水による被害額及び業績への影響は現時点で未確定です。今後、業績に大きな影響を与えることが判明した場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

- （２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。

- （３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

- （４）追加情報  
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,712	23,191
受取手形及び売掛金	95,728	97,712
商品及び製品	39,677	43,726
仕掛品	28,979	34,046
原材料及び貯蔵品	39,950	59,685
関係会社預け金	5,265	2,698
その他	21,840	27,288
貸倒引当金	△525	△499
流動資産合計	259,626	287,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,157	51,200
機械装置及び運搬具（純額）	72,854	68,447
土地	50,521	50,054
その他（純額）	9,500	9,759
有形固定資産合計	186,032	179,460
無形固定資産		
のれん	41,549	40,110
その他	8,003	7,352
無形固定資産合計	49,552	47,462
投資その他の資産		
投資有価証券	15,043	13,411
その他	21,654	21,921
貸倒引当金	△2,038	△2,065
投資その他の資産合計	34,659	33,267
固定資産合計	270,243	260,189
資産合計	529,869	548,036



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,145	96,297
短期借入金	48,422	50,988
コマーシャル・ペーパー	—	8,000
1年内返済予定の長期借入金	8,002	17,530
未払法人税等	4,631	6,234
引当金	294	167
その他	36,259	33,843
流動負債合計	175,753	213,059
固定負債		
社債	24,000	34,000
転換社債型新株予約権付社債	20,105	4,600
長期借入金	49,293	38,416
退職給付引当金	22,072	22,184
その他の引当金	3,209	3,183
資産除去債務	377	380
その他	7,050	6,035
固定負債合計	126,106	108,798
負債合計	301,859	321,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,244	41,244
利益剰余金	170,471	175,146
自己株式	△10,694	△10,703
株主資本合計	227,305	231,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,812	2,553
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△20,687	△26,057
在外子会社年金債務調整額	△1,959	△1,959
その他の包括利益累計額合計	△18,833	△25,465
少数株主持分	19,538	19,673
純資産合計	228,010	226,179
負債純資産合計	529,869	548,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	254,168	261,726
売上原価	197,186	208,906
売上総利益	56,982	52,820
販売費及び一般管理費	35,044	36,288
営業利益	21,938	16,532
営業外収益		
受取利息	162	161
受取配当金	78	72
受取保険金	—	1,207
その他	1,598	1,404
営業外収益合計	1,838	2,844
営業外費用		
支払利息	880	901
為替差損	1,437	1,287
その他	2,248	1,706
営業外費用合計	4,565	3,894
経常利益	19,211	15,482
特別利益		
確定拠出年金制度移行差益	—	224
特別利益合計	—	224
特別損失		
減損損失	302	206
関係会社整理損	293	227
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
特別損失合計	623	433
税金等調整前四半期純利益	18,588	15,273
法人税等合計	7,653	7,665
少数株主損益調整前四半期純利益	10,935	7,608
少数株主利益	684	818
四半期純利益	10,251	6,790

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,935	7,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△521	△836
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△5,877	△5,843
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	△440
その他の包括利益合計	△6,445	△7,121
四半期包括利益	4,490	487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,306	158
少数株主に係る四半期包括利益	184	329

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,588	15,273
減価償却費	13,487	13,360
のれん及び負ののれん償却額	1,295	1,313
受取利息及び受取配当金	△240	△233
支払利息	880	901
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,499	△5,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,442	△31,704
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,967	21,282
未払費用の増減額 (△は減少)	2,054	△835
その他	833	△6,729
小計	28,923	6,747
法人税等の支払額	△2,087	△4,928
法人税等の還付額	533	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,369	1,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	5	—
関係会社株式の売却による収入	11	4
有形固定資産の取得による支出	△8,631	△10,960
有形固定資産の売却による収入	349	360
無形固定資産の取得による支出	△597	△295
利息及び配当金の受取額	224	223
その他	172	503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,467	△10,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,422	3,837
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	8,000
長期借入れによる収入	16,600	—
長期借入金の返済による支出	△1,206	△733
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△24,895	△15,505
利息の支払額	△938	△891
自己株式の取得による支出	△10	△9
配当金の支払額	△2,115	△2,115
少数株主への配当金の支払額	△191	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,177	2,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,663	△1,889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,062	△7,876
現金及び現金同等物の期首残高	43,639	33,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,701	26,118

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	110,827	65,770	76,908	253,505	663	254,168	—	254,168
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	923	224	16	1,163	1,046	2,209	△2,209	—
計	111,750	65,994	76,924	254,668	1,709	256,377	△2,209	254,168
セグメント利益 (営業利益)	12,197	7,877	5,297	25,371	398	25,769	△3,831	21,938

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	110,581	70,089	80,187	260,857	869	261,726	—	261,726
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,309	102	96	1,507	1,141	2,648	△2,648	—
計	111,890	70,191	80,283	262,364	2,010	264,374	△2,648	261,726
セグメント利益 (営業利益)	10,998	5,529	3,520	20,047	307	20,354	△3,822	16,532

報告セグメントに属する主要な製品

報告セグメント	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼（金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用・非金属圧延用・非金属用）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	マグネット（希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等およびその応用品）、情報通信機器用部品（積層部品、アイソレータ）、I T機器用材料・部品、軟質磁性材料（ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品）
高級機能部品	自動車用高級鋳物部品（高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造部品、アルミホイール、その他アルミニウム製品）、設備配管機器（各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器）、建築部材（内装システム、構造システム、マテハンシステム）

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(タイ国で発生した洪水による被害状況について)

タイ国における豪雨を原因として本年10月に発生した洪水により、当社の連結子会社であるHitachi Metals (Thailand) Ltd. 及びHMP (Thailand) Ltd. が浸水被害を受けております。

この洪水により、たな卸資産、建物及び機械装置等への損害並びに復旧のための修繕費等が発生する見込みですが、保険による補填額を含め、実質損害額は現時点では未確定であります。また、復旧の時期及び当該洪水が当社グループの今後の営業活動等に及ぼす影響を、現時点で合理的に見積ることは困難であります。

なお、従業員についての人的被害はこれまで報告されておられません。

<Hitachi Metals (Thailand) Ltd. の概要>

所在地：タイ国アユタヤ県ロジャナ工業団地及びパトゥムタニ県ナワナコン工業団地

代表者：中西 壮一

資本金：711百万バーツ

出資比率：当社 100%

設立：1991年3月

事業内容：情報通信関連機器部品の製造、販売

<HMP (Thailand) Ltd. の概要>

所在地：タイ国アユタヤ県ロジャナ工業団地

代表者：湯浅 素直

資本金：100百万バーツ

出資比率：株式会社日立メタルプレシジョン(※当社100%子会社) 100%

設立：2005年11月

事業内容：金属部品(産業機械、家電、自動車向け等)の製造、販売